
酸素

彩人

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

酸素

【Nコード】

N0385M

【作者名】

彩人

【あらすじ】

僕は生れた瞬間に狂っていたのかもしれない…。
学生時代、教師から聞いた話が印象に残ったので作ってみました。
あくまで一つの考え方・感じ方だと思って読んで下さい。

僕は生れた瞬間 狂ったのかも知れない。

温かな羊水ミヌの中、ふわふわ、ふわふわ
長い間 彷徨っていたはずなのに…

どうして僕はココにいるのだろうか？

あの瞬間、僕は泣いた。

苦しくて、眩しくて、煩くて

僕は泣いていたんだ。

それなのに…

どうして皆“おめでとう”なんて笑うんだ。

どうして外の世界はこんなに…眩しいんだ。

どうして僕は…生まれてきたんだ…？

誰が望んだ？

僕は望んでない。

こんなに苦しい思いをするくらいなら、

こんなに辛い人生を生きるのなら、

僕は“誕生”生まれなくともよかったのに…。

夢なんて見えない。

希望もない。

ただ過ごす毎日にどれだけの意味がある？

答えなんてどこにもない。

あるのは醜くて非情な“世の中”^{セカイ}だけ。

やっぱり僕はあの瞬間に狂ったんだ。

“酸素”という毒に侵されて…。

だって、この心には何も無い。

何も感じないのに、どうして僕らは生きるんだ。

どうしてこの鼓動^{オト}は止まらない。

止められない。

そうして今も緩やかに、

僕は“酸素”^{ドク}に侵されていく…。

（後書き）

感じ方、考え方は人それぞれだと思います。

ただ、人間は生まれた瞬間僅かながらにでも「狂った」んだ。

そう考えると、自分自身の汚点とか、人の嫌な部分とか、少しは許せるような気がして来ませんか^^??

そして人と違う自分に「安心感」を持てる気がします。

あくまで、「作者」は…の話ですよ??

考え方とかを強要するつもりはないですし（汗）

学生時代に倫理の教師が話していたのが印象深かったので文章にしてみました。

読んで下さってありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0385m/>

酸素

2011年1月25日02時20分発行